

わたしの

税金考

税をめぐる最大の問題は何か。

「何しろ、これだけ高齢者が増え人口が減る。もう一度、根本的な税のあり方を考えるべきだ。直接税よりも間接税に比重を置いていくなら2017年4月の消費増税をどう位置づけるか。こういうふうに将来は税制をかえていかないといけない、ということ」を最初に提示すべきではないか」

「消費税の軽減税率など目先の問題に追われている」と。

セブン&アイ・ホールディングス会長 鈴木敏文氏



すずき・としふみ 日本市場を開拓した小売業の有力経営者だ。82歳

未来の見取り図を示せ

まして税収が減って、だから解決しよう。政治家はならまた消費税を上げる、まるた消費が減る。経済全体が石段をおりていくようなことにならないうまい」

「資源がない日本は税金なしではやっていけない。消費税を上げないといけない」というのが給与所得者と、

政治と経済 再びねじれ

安倍晋三首相は3月、消費税率を10%超に引き上げるかについて「考えていない」と語った。政権運営へのインパクトが大きい消費増税論議を封印する政治的な計算のぞく。一方、鈴木氏は未来図を示さなければ

消費への悪影響が増すと訴える。政治と経済のねじれが再び起きている。

発言は奥が深い。消費税は激しい論争になるのに所得税の改革は進まず歳出効率化も停滞しているのはなぜか。源泉徴収を前提とした所得税の仕組みは国にも納税者にも便利だが、痛税感がそがれる分、税財政の問題が「ひとごと」になつてしまつて指摘する。

いる。消費税に日本人が神経質なのは、所得税の源泉徴収で普段は税金に関心がないためだ。主婦層も税と

「異論はないが、今のままならまた上げなければいけない。ブランドデザインをきちんと示してほしい。今はモノあまりの時代だ。景気は悪くないけど、慌てて買う必要がない。きつかけとなったのが消費税だ。くり返しくり返し景気を冷

中小企業（経営者）の公正な税制が考えられていない。みんないかにして税を逃れるかということを考えているしそういうことが野放しになっている面がある」

「医療費がこんなにかかっている。だけど、中にはいらない人もいるかもしれない。もっときちんとした基準をつくらないと、どんな矛盾がでてくる。マニフエスト（政策公約）の中で、将来的にこつしたいんだって、各政党が方針を出すべ

「富裕層に対する増税が進んでいますね。今の税制は公正ですか。」

「日本の場合、米国ほど貧富の差はない。今は公平であっても公正ではない。収入が多いから、たくさんとって当たり前で考えかたはおかしいよね。努力に

「聞き手は川瀬智浄」

日本の税金が抱える矛盾やゆがみとその処方箋を経営者や有識者に聞く。

（随時掲載）